

令和5年度 公共事業事後評価

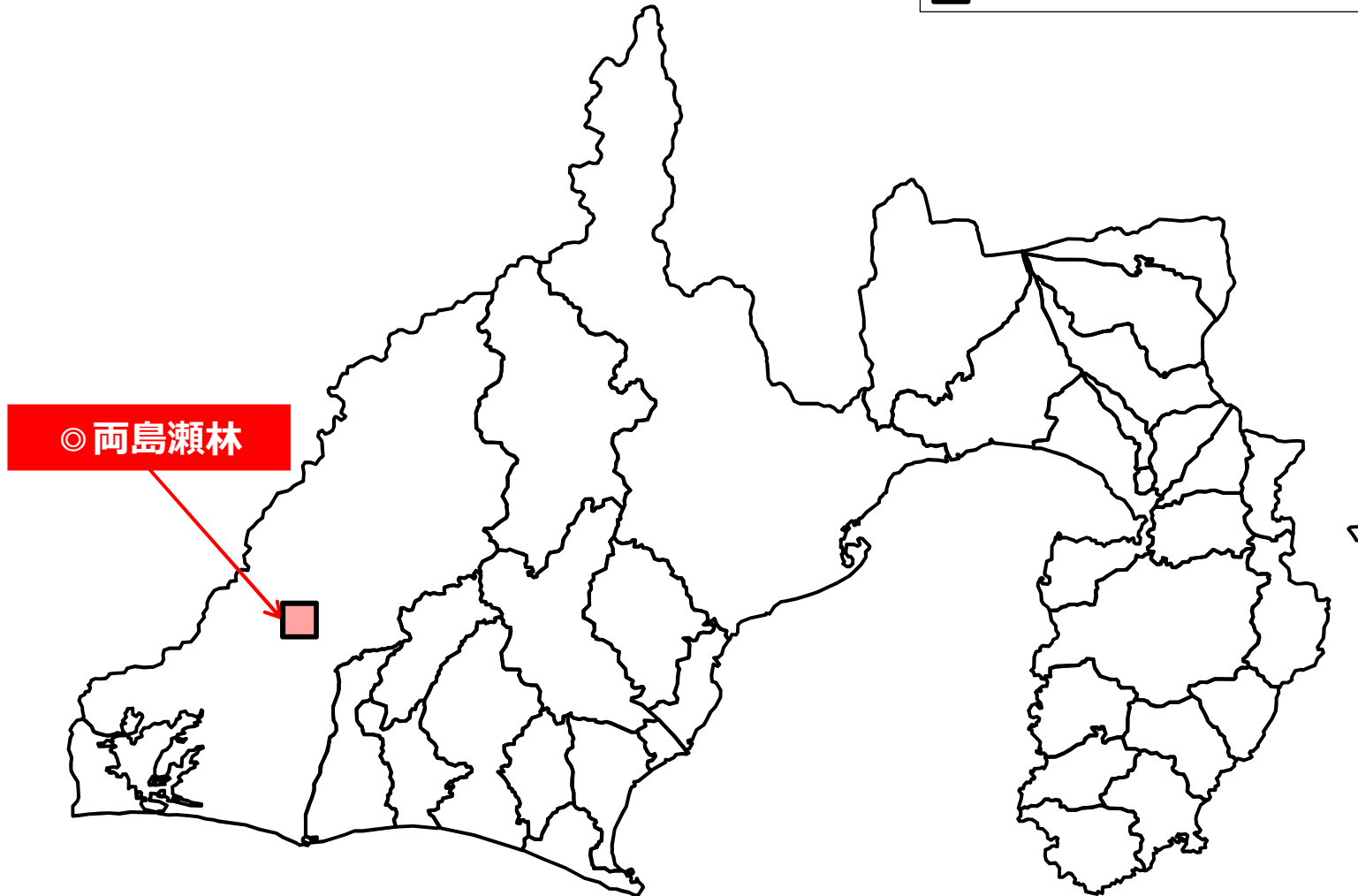
急傾斜地崩壊対策事業：1事業

番号	事業名	箇所名	代表箇所
3	急傾斜地崩壊対策事業	両島瀬林（りょうじませばやし）	◎

交通基盤部 河川砂防局 砂防課

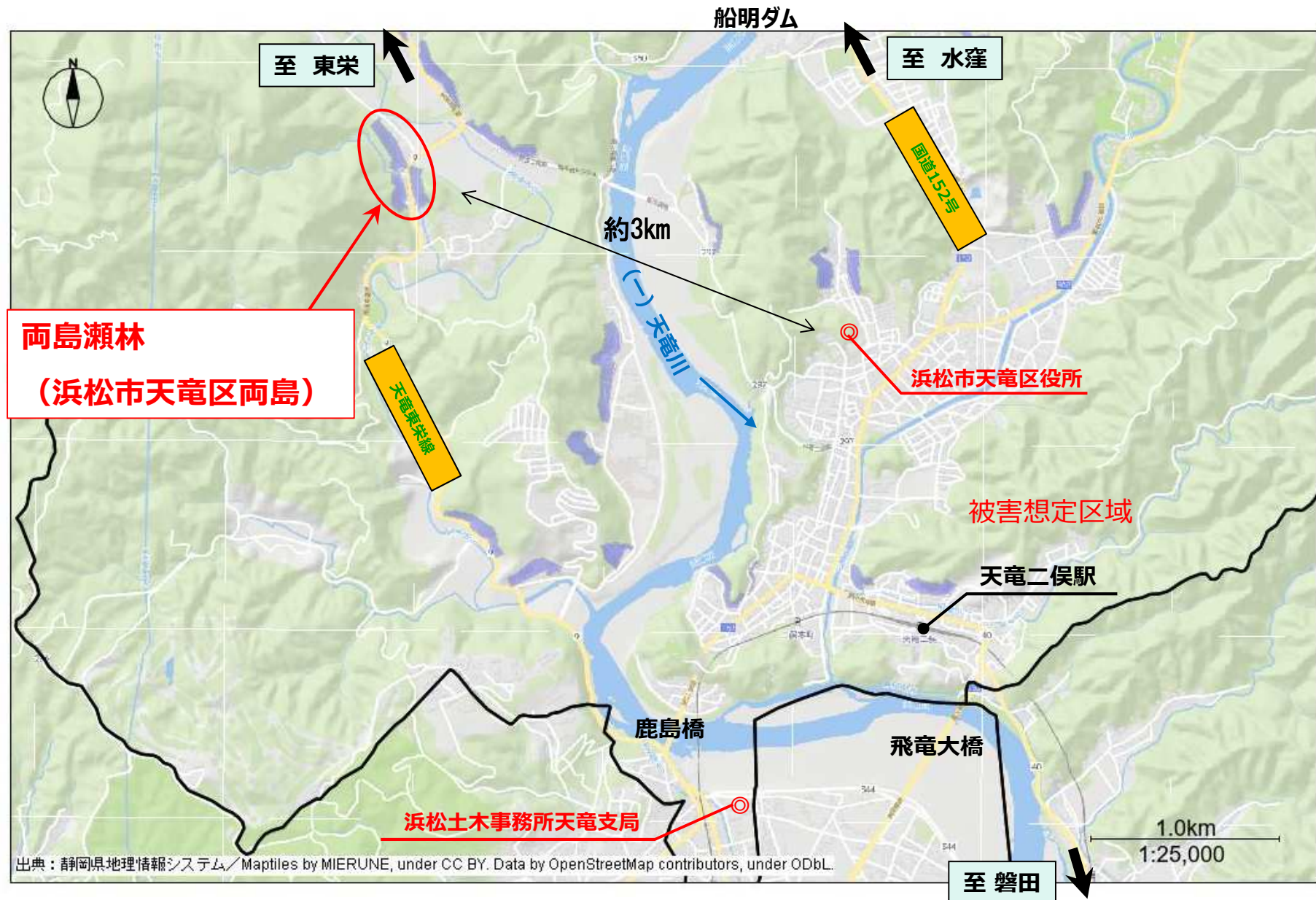
事業箇所位置図

■ : 急傾斜地崩壊対策事業 1箇所



交通基盤部 河川砂防局 砂防課

位置図



事業概要

【両島瀬林地区 平面図】

● 保全対象 人家26戸、市道200m、県道220m



前回 (H28再評価実施時)

- 事業期間 平成19年度～平成30年度
- 総事業費 702百万円



実績

- 事業期間 平成19年度～平成30年度
- 総事業費 789百万円

事業概要（施設の整備状況）

A区域



B区域



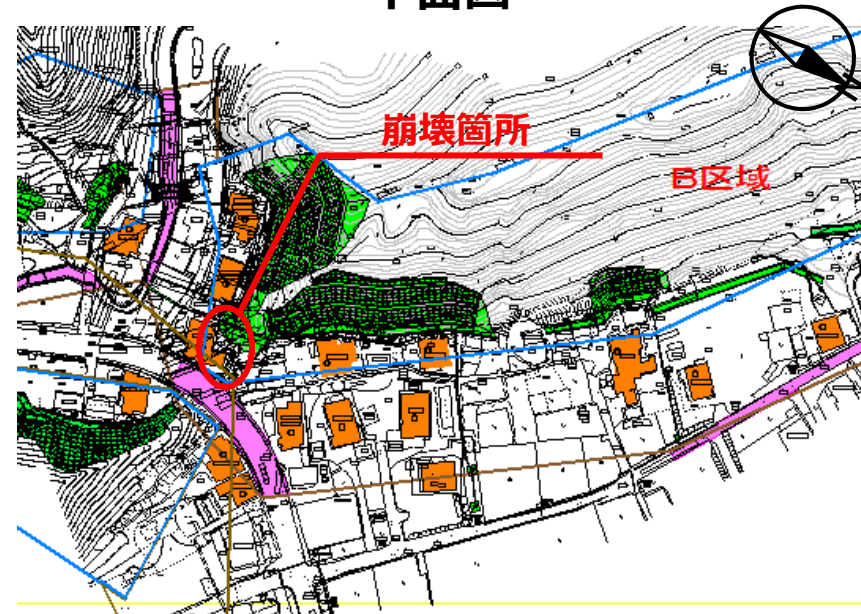
C区域

過去の豪雨による被害状況（平成21年6月）

B区域の崩壊状況



平面図



事業の効果の発現状況

- H22年以降、当箇所では土砂災害は発生していない
- 県内では年間40件を超えるがけ崩れが発生しているが、施設により被害を軽減した事例がある。
- 当箇所においても同様に被害を軽減する事業効果が期待できる。

事業実施による環境の変化（令和5年5月）

B区域



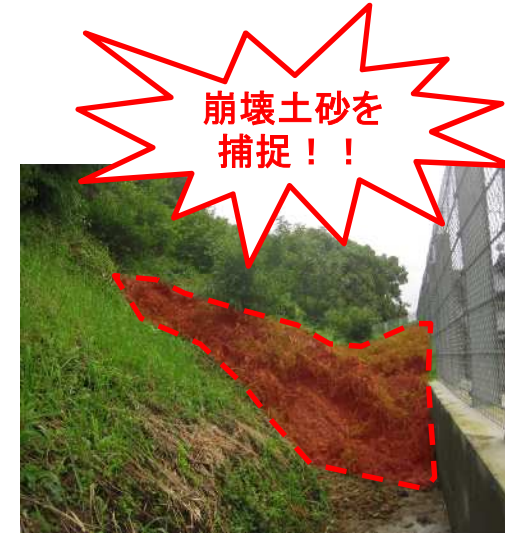
C区域



○法枠工の枠内は植生吹付を行うなど、浸食風化の防止とともに、周辺環境との調和が進んでいる。

対応方針（案）

浜松市西区での効果事例（令和4年7月）



○県内の整備済み箇所では、がけ崩れによる人家への影響を最小限に止めている。



がけ崩れが発生した場合の効果が期待できるため、改善措置の必要はない。

今後の課題

- **適切な維持管理の実施**
急傾斜地パトロールを定期的 to 実施し、引き続き良好な状態で施設を維持管理する。
- **ソフト対策と連携した人命の保護**
土砂災害警戒区域に指定され、市によるハザードマップの作成・公表等の警戒避難体制がとられている。
- **事業の進め方**
今後の同種事業についても地元住民へ情報提供をに努め、安全・安心な地域づくりに努めていく。